

日本エンパイロケミカルズ株式会社は、2015年4月1日付けで、大阪ガスケミカル株式会社と合併し、社名を大阪ガスケミカル株式会社に変更しました。今後は、両社の主要事業を組み合わせた総合機能性材料メーカーとして、お客様のあらゆるニーズにお応えし、価値あるソリューションをご提供してまいります。



▶クラフト創造遊苑「兵庫県立丹波年輪の里」
所在地/兵庫県丹波市 構造・階数/木造・2階建て
開設年月/1988年4月 改修工事期間/2014年12月~15年3月
木工クラフトを中心とする文化活動のほか、スポーツ・レクリエーション活動の場を提供する

部は、直前の塗り替え工事で使用した造膜型のウレタン系塗料の劣化によって、外見が損なわれていた。「木材の動きに塗膜が追従できず、旧塗膜にひび割れやはがれが見られました。安田氏はそう振り返る。丹波帯は、夏暑く、冬寒い、という盆地型の気候。そのため、温度・湿度の変動が大きい。木造の建築物では、温度・湿度の変動による木材の変形を前提に、納まりや塗料などを決めなければならぬ。さすがに、同じウレタン系の塗料は使えない。何を使うか……。

木の風合いを評価

実績に感じた大きな安心

安田氏はここ10年、各種の塗料を使ってみて、その経過を追つてきた。5年後、10年後、建物の魅力を高めることのできる塗料を探し続けてきた。ところが自身の経験のなかでは、信頼の置けそうな塗料にはまだ出合えていない状況だった。

そこで改めて自身の経験の枠を超えて、使用実績や製品性能を評価した結果行き着いたのが、屋外木部専用の木材保護塗料「キシラデコールコンゾラン」である。造膜型の水性塗料。耐候性・耐久性の高さが、最大の特徴だ。

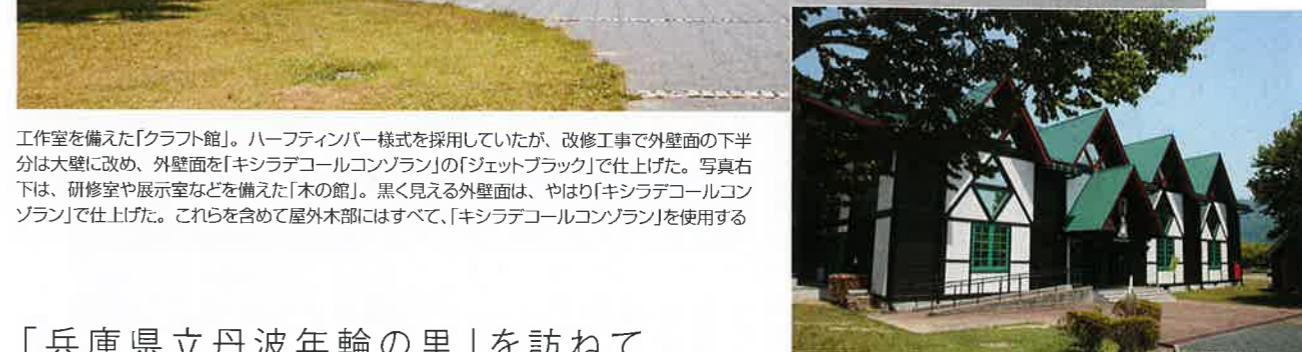
秘密は、塗膜特性にある。塗膜が木材に密着していることから、まず膨れが生じにくい。通気性が高いので、蒸れも生じにくい。さらに柔軟性に富んでるので、割れも生じにくい。木材の自然な動きに塗膜がしっかり追従できるわけだ。

丹波市内で築100年以上の歴史を持つ、この3月に「たんぱ黎明館」として生まれ変わったライ&エフラーを経て、いまに至っていると思います。その実績を評価しました。実績があると、安心感も大きいですね。

安田氏が評価したのは、使用

いた「強さ」と「美しさ」。建材・設備メーカー賞受賞部門で、9年連続1位を獲得したという。「キシラデコールコンゾラン」は、古材でも色付きが良いことから、明るい色を含む18色をそろえる。

黎明館」として生まれ変わった建築物が同じ塗料を使っていると聞いて現地に赴き、そこでも安心感を得る。「造膜型のわりに浸透性があり、色付きが良きれいに仕上がるだけではなく、木の風合いを損ねることな



工作室を備えた「クラフト館」。ハーフティンバー様式を採用していたが、改修工事で外壁面の下部分は大壁に改め、外壁面を「キシラデコールコンゾラン」の「ジェットブラック」で仕上げた。写真右下は、研修室や展示室などを備えた「木の館」。黒く見える外壁面は、やはり「キシラデコールコンゾラン」で仕上げた。これらを含めて屋外木部にはすべて、「キシラデコールコンゾラン」を使用する

「兵庫県立丹波年輪の里」を訪ねて

公共木造の先駆け、 キシラデコールコンゾランで色鮮やかに蘇る

地元では公共木造建築物の先駆として知られる兵庫県立丹波年輪の里。完成から25年以上が経過した昨年度、劣化度合いを調べたうえで改修工事を実施。冬の厳しい気象条件下での工事ながら、屋外木部は高耐久性木材保護塗料「キシラデコールコンゾラン」によって色鮮やかに蘇った。



有限会社ウッズ 取締役
一級建築士
安田 哲也 氏

木材を調達する木材コーディネーターとともに有限会社ウッズを共同で経営。建築設計のかたわら、地域の森づくりを推進するNPO法人サウンドウッズで地域産材の普及に向けた仕組みづくりや人材育成などに携わる

「木材は、時間の経過とともに朽ちていくものではなく、わいの深まるもの。それが、魅力です。今回の改修工事では、可能な限り原設計を復元することに努めました」。兵庫既存建物の使いや質感を踏襲して、可能な限り原設計を復元することに努めました。兵庫県内で公共木造建築物の先駆けとして知られる県立丹波年輪の里は、その安田氏が改修設計を担当した建築物であります。開設は1988年4月。屋外木部の塗り替えはこれまで何度か実施してきたが、補修を含む改修工事は初めてだ。

「木材は、時間